

## 全国の活動紹介

### 福井発

**祝！新幹線開業  
敦賀のおもてなし活動**



観光客に「お写真お撮りします」と声かけ  
右：おそろいのバッジおもてなし

3月16日(土)、北陸新幹線の金沢駅・敦賀駅間が開業。各駅で行われた出発式には、地元住民や観光客、鉄道ファンがたくさん訪れ、大変盛り上がりしました。

**福井県敦賀支部**(事務局：市教育委員会)は、敦賀駅及び観光客が多く訪れる氣比神宮周辺で、地元の高中生と書かれたおそろいのバッジを着け、ごみ拾いや観光客の道案内、写真を撮ってあげるなどの「おもてなし活動」を展開。このバッジには、親切運動を通しておもてなしの心を伝えたい、そして敦賀の良さを発見してほしい、との思いが込められています。

なお、敦賀支部のおもてなし活動や福井県内各駅の開業の様子は、福井放送より、運動本部より日本赤十字石川県支部へ寄附いたしました。

ご協力いただきました地域組織、会員の皆様及び関係各位に心より御礼申し上げます。被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

### 読者PRESENT



7頁で紹介したボールペンをセッティングして5名様にプレゼントいたします。  
応募方法：「氏名」「住所」「年齢」「本誌の感想」をご記入の上、FAX(03-3263-3838)または応募フォームより応募ください。  
締め切り：2024年6月14日(金)必着。  
当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

### 寄附者(芳名)

(2023年12月～2024年3月末、敬称略・順不同)  
山形県 金岡正義／三重県 蛭川矩行  
埼玉県 与野支部／岩手県 滝野沢彰一  
山口県 天野洋子／静岡県 本郷部  
木県 松本カネ子／群馬県 佐々木昌弘  
長崎県 平和建設興業株式会社  
香川県 竹中寿男／埼玉県 中村優一  
石川県 金沢市額公民館SDGsもくれん学級学級生一同

送の現役アナウンサーでもある福井県本部・森本茂樹事務局長のブログでも紹介されていますので、ぜひお読みください。

### 広島発

#### 笑顔の花が咲く街に

広島県福山支部は、子どもたちに楽しく通学してもらおうと、小学校の通学路沿いにある「小さな親切」ふれあい花壇に、春から秋にかけてはミニヒマワリやコスモス、冬はピオラなど季節の花を植え、子どもたちの笑顔と優しい心づくりに尽力しています。

このほか、地域団体との交流や慰問活動、車椅子寄贈活動、県本部が主催する「作文ポスターコンクール」への参加呼びかけ、入賞作品の展示などを推進。



笑顔溢れる街づくりに汗を流す役員の方々



合同で授業をした大泉第四小の田口颯也香先生

### 運動本部の推薦図書『あっちゃんも』



6歳のとき広島で被爆し、多くの人の死、苦しみに出会った小谷孝子さんは、その後幼稚園教諭となり、定年退職後、相棒の人形「あっちゃん」と二人三脚で、腹話術で被爆体験を語り伝えています。  
亡き母の「どんな大変なときでも、自分のことだけでなく、人のことも大切にできる心の豊かな人になりなさい」との言葉を胸に、次世代へ平和のバトンをつなぐ小谷さんの活動が、このたび絵本となりました。子どもから大人まで、ぜひ読んでほしい一冊です。  
※価格は1,800円(送料別)。購入申し込みは「オフィスなかおか」まで。  
メール：nakaoka@kebiglobe.ne.jp  
HP (http://www.office-nakaoka.com)

「あっちゃんも」は、小谷さんの活動に感銘を受けた有志がプロジェクトを組成し、制作した絵本です。原爆の惨状はもちろんです。原爆の惨状に激変するショック、突然愛する家族を失うような親しい喪失感を、やわらかに包むように親しみある絵で描写しています。被爆しながら無傷無病でいることの罪悪感で苦しむ主人公が、どう立ち直っていくかも最大の見どころ。ぜひ、一読ください。  
(編集と文を担当した中岡裕次郎氏より)

街づくりを目指し、多彩な活動を展開しています。

### 東京発

#### 紙芝居で災害時の助け合いを考える

当運動本部では、東日本大震災被災地取材してオリジナル紙芝居2作品(『つなみのひ』『まつりのひ』)を制作し、以来子どもたちに非常時の思いやり、助け合いの大切さ考えてもらう道徳のモデル授業を実施してきました。授業の講師をつとめる馬場喜久雄先生(全国小学校道徳教育研究会顧問)は、この度の能登半島地震発生をうけ、練馬区立大泉第四小学校で数回にわたって授業を行っています。

震災から数年後を描いた『まつりのひ』では、津波によって海が怖くなった主人公が、仲間を支えられて恐怖を克服していく様子が描かれており、それに共感する児童が多かったようです。

紙芝居や学習指導案などは、運動本部の青少年教育専門サイト「てらこあん」(https://www.kindness.jp/kids/)よりダウンロード可能。授業や読み聞かせにぜひ、ご活用ください。

### お知らせ

#### エフエム世田谷で作文とエッセイの朗読がスタート

エフエム世田谷(83.4MHz)の番組「モーニングライブラリー」図書館で会いましょう(放送：毎週土曜午前9時～9時30分)にて、作文コンクールとはがきキャンペーンの作品朗読がスタートしました。

4月6日(土)、初回の放送には運動本部・山橋由貴子専務理事が出演し、「小さな親切」運動の始まり、各コンクールがスタートしたきっかけなどを語りました。

エリア外の方はエフエム世田谷のHP (https://fmsetagaya.com/)、または無料アプリ「Listen Radio」より聴取可能。番組内の朗読は、パーソナリティをつとめるアナウンサーさんが運営する、YouTubeチャンネル「あすてっぷ朗読ライブラリー」にもアップされますので、声のプロフェッショナルによる朗読をぜひお楽しみください。  
【YouTubeはこちら】



#### 「令和6年能登半島地震」災害見舞金を寄附しました

本誌新春号にて、皆様にご協力を呼びかけておりました能登半島地震災害見舞金の総額は501万5,870円

## 「未来をつくる青少年の心づくり応援寄附金」申込書

2024年 月 日

氏名 (ふりがな)	年齢	歳
団体・法人名	担当者名	
住所 〒		
連絡先 TEL	FAX	
E-mail		
寄附金額 円	振込先 みずほ銀行 九段支店 普通預金口座 1298186	
(振込予定日 月 日頃)	チャイナシンセツ ウンドウホンブキフキンクチ 公益社団法人「小さな親切」運動本部寄附金口	
会員の有無 (☑印をつけてください)	<input type="checkbox"/> 会員 (会員番号： )	<input type="checkbox"/> 非会員

ご寄附いただいた皆様には、毎年2月発行の作品集(作文コンクール&はがきキャンペーン合併版)をご寄贈申し上げます。

- 【申込方法】**
- 1 本申込書にご記入の上、  
FAX：03-3263-3838  
へお送りください。
  - 2 スマホやPCからも申し込みできます。
- 【アンケート】**
- 1 寄附金の使い道  青少年の豊かな心を育む実践活動  その他親切運動全般
  - 2 寄附金者の氏名・都道府県名の公表について  許可する  許可しない
  - 3 「小さな親切」運動を何で知りましたか  
 「小さな親切」実行章を受章  図書館・銀行などで冊子を読んだ  その他 [ ]
  - 4 寄附をするきっかけ [ ]

